

# やまがた米だより

No. 2

平成29年5月24日



山形県庁県産米ブランド推進課  
山形つや姫ブランド化戦略推進本部  
オールやまがた米づくり日本一運動本部  
山形 112 号ブランド化戦略実施本部

## うららかな陽気、田植え日和です。

すっかり暖かくなり、農家の皆さんにとって忙しい季節がやってきました。うららかな陽気のなか、県内各地で田植えが盛期を迎えています。

今年のゴールデンウィーク期間中は気温が高く、苗への影響が心配されましたが、生産者の適切な管理で順調に育ちました。生産者は、田植えに向けて、時期や植える深さを品種に応じて調整するなど、品種ごとに一番おいしいコメをつくるための工夫を凝らしています。

これから秋の収穫までの間、稲は愛情たっぷりに育てられ、皆さまの食卓に並びます。今年の山形県産米をお楽しみに！



(写真：寒河江市にて撮影)  
快晴の田植え作業。稲が順調に育つよう、天気の良い暖かい日を選んで作業を行います。

## 水稻の直播栽培をご存知ですか？

水稻の栽培方法として、種もみを直接田んぼに播く直播栽培をご存知でしょうか。直播栽培は、育苗にかかる労力や費用が軽減できることから、いま注目を集めています。

平成30年にデビューする水稻新品種「雪若丸」は、稲の茎数を確保しやすく、草丈が短く倒れにくいいため、直播栽培にも適しています。今年は先行販売用に35haが作付され、約200tのおいしい「雪若丸」が生産される予定です。



専用の播種機で「雪若丸」の種もみを水田に直接播いています

田植えの前に…

## 苗の生育状況をチェック



5月1日（月）、高品質でおいしい県産米の生産に向けて、育苗パトロールが行われました。「なえはんさく苗半作（＝苗の出来によって作柄の半分が決まる）」と言われるほど、苗づくりは非常に重要な作業であり、生産者はきめ細かい管理で苗を育てています。

今年、つや姫マイスターである土屋喜久夫氏（寒河江市）と奥山喜男氏（河北町）の育苗ハウスをパトロールし、「つや姫」や「雪若丸」などの生育状況を確認しました。青々と育った苗を前に、参加者からは感嘆の声があがります。実際に苗に触れたり間近で観察したりして、今年の苗もしっかりと揃った良い苗に生長していることを確認しました。

毎月「28日」は「つや姫の日」

## ホビークッキングフェアで「つや姫」PR



つや姫レディから試食用「つや姫」を受け取る来場者  
（於：東京ビッグサイト）

4月26日（水）～29日（土）、東京ビッグサイトで開催された「第10回ホビークッキングフェア2017」において、「つや姫」の試食販売を行いました。

つや姫レディが先頭に立ち、来場者にPR。炊きたてはもちろん、冷めてもおいしい「つや姫」の魅力を伝えました。「つや姫」を試食した来場者は「おいしいね」とにっこり笑顔に。多くの方々が「つや姫」を買い求めていました。

試食販売は大好評！県外の方々に、おいしい山形県産「つや姫」を知っていただくことができました。